

7月13日!

■ 大好評前売中

7/13のみオールナイト!

¥800 <一般¥1,000の処>
学生¥900

● 団体のお申込みは233-8473(渉外係へ)

指定席券 ¥1,500

● その他のお問合せは233-2968

川崎パラスポーツ

ミスタウン 土・日・祝 9:40 平日 12:00 2:30 5:00 7:30

WILLIAM PETER BLATTY'S

THE EXORCIST

Directed by WILLIAM FRIEDKIN

ウィリアム・ピーター・ブラッティ作品

エクソシスト

監督ウィリアム・フリードキン



この家の少女に 想像を絶する何かが起きている! すべてを託された男
《エクソシスト》の生命を賭けた闘いが——いま始る!



1974年度アカデミー最優秀脚色賞・最優秀録音賞受賞 ■ 1974年度ゴールデン・グローブ最優秀作品賞・最優秀監督賞
最優秀脚色賞・最優秀助演女優賞受賞

エレン・バースタイン/マックス・フォン・シドー/リー・J・コップ/キティ・ウィン/ジャック・マッゴラン/ジェーソン・ミラー(カラス神父)
リンダ・ブレア(リーガン)/製作ウィリアム・ピーター・ブラッティ/製作総指揮ノエル・マーシャル

原作・脚色ウィリアム・ピーター・ブラッティ/ワーナー・ブラザース映画 From Warner Bros. A Warner Communications Company

エクソシスト

《エクソシスト》とは!?

エクソシストとは悪魔払い師のこと。人間の体にとりついた悪魔を祈りによって追放する悪魔払いの儀式は、古くから東洋にも西洋にも数多く在存していたが、科学万能の現代ではその効用を信ずる者などほとんどなく、現在カトリックでも、これの執行を認可するには種々のきびしい条件が用意されていて、実現することはめったにないという。

そのエクソシストがこの映画には登場する。文明国アメリカの大都会のまっただ中で、十二歳の少女の体内に住みついた悪魔と、命かけた対決をする。

■キャスト■

クリス・マックニール…エレン・バースタイン
メリン神父……………マックス・フォン・シドー
キンダーマン警部補……………リー・J・コップ
シャロン……………キティ・ウィン
バーク・デニングス…ジャック・マッゴーラン
カラス神父……………ジェーソン・ミラー

リーガン……………リンダ・ブレアー

■スタッフ■

製作……………ウィリアム・ピーター・ブラッティ
製作総指揮……………ノエル・マーシャル
原作・脚色……………ウィリアム・ピーター・ブラッティ
ウィリアム・ピーター・ブラッティ作品
鬼才 ウィリアム・フリードキン監督

■解説

時は20世紀も後半の現代、ところはアメリカ合衆国の首都ワシントン。そこにロケ撮影のため滞在中だったハリウッドの人気女優の12歳になる娘に悪魔がとりついた。カトリックの神父さえも最初は信じられなかったこの悪魔の存在を、可憐な少女の体内から追放するため、彼はみずから悪魔払い師(エクソシスト)の助手となり、年老いたこの高名な神学者とともに血も凍るような悪魔との戦いを展開する――。

ウィリアム・ピーター・ブラッティが書いて、すでに一千万部近くを売りつくしたといわれる原作小説をブラッティ自身が脚色し、製作までをも買ってでて一



■ストーリー

*灼熱の地の果てで…

北イラクの古代遺跡。アメリカの古生物学者であり、カトリックの神学者でもあるメリン神父(マックス・フォン・シドー)は、発掘中に悪霊バズズの偶像を発見した。―異様な戦慄と緊迫感の中―メリン神父は、いつかふたたび、このバズズと対決する日がくることを全身に感じるのだった。

*おまえは宇宙で死ぬぞ

舞台は変ってここワシントンのジョージタウン。ロケのため臨時に借家住まいをしている人気女優のクリス(エレン・バースタイン)は、このところ屋根裏に響く異様な物音に悩まされていた。初めはネズミの仕わざだろうとさほど気にもとめなかったが、まもなく1人娘のリーガン(リンダ・ブレアー)の身に恐るべき事が起こりはじめた。

それはリーガンの誕生パーティーの夜、各界の名士を集めたパーティーも夜更けてほんの数人だけになった頃、何かにつかれたようにリーガンがベッドから起きだし、居間にやって来ると、客の1人である宇宙飛行士に

ッド

年ぶりに完成したこの映画は、封切そうそう「ゴッドファーザー」をはるかに上回る興行記録を各地に続出させ、そのヒットの原因を、機械文明の発達しすぎから生まれた合理主義への不信、不安な世界状況からの人々の神秘主義への逃避などとさまざまに分析されながら、ともかく映画史上に永遠に残るべき作品――との評価を今も刻々高めつつある。

監督は「フレンチ・コネクション」で、一昨年のアカデミー賞を受賞したウィリアム・フリードキン。主演はエレン・バースタイン(ラスト・ショー)、ジェーン・ミラーという若手演技派ふたりに、全米をスカウトして選んだ14歳の少女リンダ・ブレアーを加え、こ

向って「おまえは宇宙で死ぬぞ」とつぶやいてその場に放尿するのだった……

*この牝豚はおれのものだ!

数日後の夜、リーガンの悲鳴に寝室にかけ上ったクリスは、一瞬目が疑った。何か巨大なものの手で揺すられてでもいるようにリーガンを乗せたままベッドが上下左右に揺れ動いているのだ。

近代医学の粋を集めた大病院での検査もいっこうに、らちあかずたまりかねたクリスは、精神科医に催眠療法を頼むが、途中リーガンはいきなり医師の股間に手を伸ばし、凄まじい力で締めあげると「さわるんじゃない! この牝豚はおれのものだ!」と叫んだ。それはまぎれもなく悪魔の声だった。

監督のバーク・デニングス(ジャック・マッゴーラン)が恐ろしい死に方をし、キンダーマン警部補(リー・J・コップ)がクリスの家に入りしはじめたのもこの頃のことだった。

*あつノリーガンの首が!?

その日を契機にリーガンの形相は一変した。あんなにあどけなく可愛らしかった顔が醜い悪魔のそれに変

のトリオをスエーデンの名優マックス・フォン・シドー(処女の泉、第七の封印)、アメリカの名優リー・J・コップ(波止場、12人の怒れる男)がバックアップするという完璧な布陣である。

音響はクリス・ニューマン、他。技術顧問としてカトリックの高位聖職者や医学界の権威たちが多数参加しているものも、今までの映画には余り例をみないことであろう。

撮影はオーエン・ロイズマン。高度の技術を駆使した特殊撮影や特殊音響効果が、この世にも怪奇な物語のリアルな恐怖を更にリアリティに盛り上げている。

上映時間――2時間02分

わって、瞳に絶えず憎悪と嘲笑の色を浮かべ、ヒビ割れた唇からはヘドを吐き、獣のようななり声と神を冒瀆する卑猥に満ちたことばをまき散らす。部屋は異様な冷気と臭気に満ち、コケのはえた長い舌を蛇のように出し入れし、十字架を手に「ファックミー!」「イエスがお前とやりたがっている!」そんな言葉の合間にも「いやよ! やめて!」というリーガンの泣き声が口をつく。腰を抜かささんばかりのクリスの顔を無理矢理ベットりと血に染まるソコへ押しつけ、殴りとばし、はては狡猾な笑いを浮かべたまま首を完全に一回転させるのだった……

*凄まじい悪魔との闘い!

万策つきたクリスはとうとう《悪魔払いの儀式》をしてもらおうとカラス神父(ジェーソン・ミラー)に頼み込むが、神父はそれを信じない。しかし、リーガンの胸に「ヘルプ・ミー」の文字が浮かびあがったのを見たとき、決意した。ついにカトリックの中でも数少ない悪魔払いの経験者、メリン神父が呼ばれ、カラス神父を助手に悪魔との凄絶な闘いがはじまった……

(新潮社刊「エクソシスト」より)